

2020年10月2日

脳内科に通院中または通院歴がある患者さん・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2016年4月～2025年3月の間に、心原性脳塞栓症の診断を受け直接経口抗凝固薬（ダビガトラン、アキキサバン、エドキサバン、リバーロキサバン）の投与を受けた方

【研究課題名】直接作用型経口抗凝固薬の血中濃度に与える臨床背景の検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原 匡史

【研究の目的】直接経口抗凝固薬の血中濃度に与える臨床背景の影響を調査するため

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、腎機能検査、肝機能検査、末梢血液像、併用薬、薬物血中濃度

【研究期間】2017年9月29日より 2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 担当医師 猪原 匡史
電話 06-6170-1070(代表)